

太田東西かわら版

おんこころ せんだりまとうぎ そわか

2025. 2

「戦い」から逃げて 健康にはなれない



1月23日、壱岐にて初詣。場所は＜龍蛇神社＞。

「辰年から蛇年」にちなんでの神社参拝。・・・・ではありません。

昨年末の冬至が過ぎた頃、なぜか「壱岐に行って神社参拝したい」となりました。1泊2日で10社参拝しました（その模様はブログにあります）。

なぜ、この神社に立ち、この写真を表紙に使ったのか??
今月号のタイトルがその答えです。

芦辺港の小高い丘の上にある＜少弐（しょうに）公園＞。その岬の先端の海岸に＜龍蛇（りゅうじゃ）神社＞はあります。鳥居と石の祠（ほくら）。これのみ。



750年前、モンゴル人が侵略上陸して来た場所がここです。いわゆる「元寇（げんこう）」です。

壱岐は自然豊かで食べ物もおいしい、風光明媚な観光地ですが・・・悲惨な歴史がそこにはあります。神社や地蔵が数多くあるのも、ここにそうした歴史があり、無念に亡くなった故人を弔うための鎮魂碑です。

今の日本の暮らしが平和なのは、先人のおかげである。

今、どれくらいの日本人に、そうした「感謝の意識」があるでしょうか。ガソリンが高い、キャベツが高い、夫と話にならない、子どもがゲームばかりして勉強しない。時間がない、お金がない、腰が痛い・・・。家族に、暮らしに、世の中に、自分にイライラする不満ばかりの毎日。

今の日本は、元寇当時の危機の渦中にある。

今、どれくらいの日本人に、そうした「自衛の意識」があるでしょうか。戦争しているのは、ロシアとウクライナでしょ？ 日本はどの国にも攻められていないし、万が一の有事の時は、アメリカが守ってくれる。テレビ・新聞からの情報を信じて疑わず、お上に依存してばかりの毎日。

太田先生、政治家にでもなるつもり？(笑)

太田東西薬局のお客様で、そう思った方々はいないと信じていますが自分の健康が、自分の家族の健康が、社会情勢に影響されていることをもっともっと真剣に考えてほしいと願っています。

「揺るぎない心身の健康」、手に入れるために。

社会情勢は専門家にお任せして、今月号で皆さんに力説したいこと。
先月号の「自分の健康は自分で守る」。そのためには、自分の健康を守るためには「戦う！」という覚悟と勇気が必要だということです。

5年前に震撼させられた新型コロナウイルス。そして今冬でもインフルエンザが大流行。失礼ながらすでにその“えじき”になった方々もいます。どうして漢方を飲んでいたのに、その“えじき”になったのか・・・？

敵から自分を守る！どんなに近しい中でも、自分を最優先にする！

「戦う！」という「自己防衛意識」が不足していたからです。

ところであなたはどうして、コロナワクチンを何度も打ったのですか？
ワクチンの作用機序、注射の成分、熟知してのことですか？
まるで注射を済ませたら、「コロナにかからないで済む」という安易な考えからではないですか？

コロナ・インフルエンザにかからないために、感染症にかかっても重症化しない（命を落とさない）ために、人間の体内で起きていることは

「戦い」です！

下図のように、あなたの血液中の「白血球」という戦士がウイルスという侵略者と日々戦っているから、あるいは侵略されても、発熱・咳・鼻水という戦略で真っ向から戦っているからこそ、あなたは日々健康でいられる、健康を失っても回復できるのです。



あなたがどれだけ戦争反対の平和主義者、戦いを好まない博愛主義者でもあなたの白血球は、感染症やガンにかからないように、あなたの命を守るために、見えない敵と日々「戦っている」のです。

だから感染した（風邪を引いた）時には、戦うための兵士である白血球が急増します。ふつう5000ほどの兵士が、10000以上に増加する。細菌・ウイルス・ガンと戦って、戦死する白血球もたくさんいます。

風邪や外傷が治った後、そうした白血球たちに「ありがとう」と感謝していますか？「ごくろうさまでした」とねぎらっていますか？

ちなみに風邪が治っていく終盤で、ネバネバ固形状の痰や黄色い鼻水が出るのは、戦いに勝利した証であり、それが戦死した白血球の亡骸です。

ワクチン打ったから大丈夫だと思っている日本人に伝えたい。ワクチンがウイルスと直接戦ってくれるものではありません。その注射はあなたの白血球にウイルスと戦うためのミサイル（抗体）を製造させて防衛するもので、結局はあなたの白血球に仕事をさせる薬、なのです。

ワクチンに限らず、薬を飲めば病気は治る。すなわち、病気に勝てると疑わない日本人が、外資系製薬会社のお得意様となっている現状。

「国防」意識なき日本に住む、「予防」意識なき日本人。

病原菌、ウイルス、ガン細胞に自分が侵略されることはない。自己防衛意識に欠ける日本人が多いから、外資系製薬会社に狙われ、税金を食われ、「薬漬け」にされてしまう。

平和も健康も、一朝一夕に築けない。
でも失うのは一瞬で、実にあっけない。
侵略されていると気づいた時は、後の祭り。

免疫力というのは、つまるところ「戦力」。
戦力は終戦前のように竹やりを持って敵と向き合うことではありません。
自分の命を守る兵士である白血球の機能を高める「予防習慣の積み重ね」こそが戦力。

「戦争反対！」のプラカードを持っても戦争はなくなる。同じく「病気反対！」いくら声高に叫んでも、予防意識がないなら健康を得ることはできない。



外敵侵略の気配がないか？ 常にパトロールしている白血球の通り道。

それこそが「血流」なのです。 — 4 —